

栃木県

災害ボランティア シンポジウム in 栃木 開催報告

平成29年2月7日(火)、栃木県総合文化センターにて栃木県と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して栃木県危機管理監の篠崎直樹様と当協会の吉田理事長が挨拶し、続いてウエザーハート災害福祉事務所の千川原公彦様による基調講演と各パネリストによるパネルディスカッションが行われました。



基調講演

13:40～14:40

災害ボランティアの役割や その支援のあり方

ウエザーハート災害福祉事務所

代表 千川原公彦氏

基調講演では特に東日本大震災だけではなく、北海道の台風の災害、また糸魚川における火災、熊本地震において現地での様々な活動を映像を交えてお話し頂き、最後に「被災者の心を支えるのが災害ボランティアである」とまとめられました。



千川原 公彦氏

山形県出身。秋田県在住時に、日本海中部地震(1983年)を体験。北海道の有珠山噴火災害(2000年)を契機に国内の災害支援に関わる。現在、被災地における避難所や災害ボランティアセンターの運営支援、平時には防災マップの作成や訓練活動の支援など、行政・社会福祉協議会・NPOなどと地域防災に携わっている。

災害ボランティアに関する取組や課題

パネルディスカッション

14:50～16:20

コーディネーター

ウエザーハート災害福祉事務所

代表 千川原公彦氏

パネリスト

宇都宮大学教育学部学校教育専攻

教授 長谷川万由美氏

社会福祉法人前橋市社会福祉協議会

地域福祉課 主任 高山弘毅氏

株式会社ツクイ小山営業所

介護支援専門員 矢崎かおる氏



パネルディスカッションでは、それぞれボランティアコーディネーター、ボランティアセンター運営者、介護支援専門員の立場から、災害現場における活動や課題などをお話し頂き、最後に1人ずつシニア災害ボランティアに対してメッセージを頂きました。

今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。